



少人数学級への前進を求める意見書採択を求める請願

【請願趣旨】

議員各位の、「コロナ」対応はじめ、諸課題へのご尽力に、心より敬意を表します。

公立小中学校の学級編成標準は、少しずつ改善されてきたものの、兵庫県では小学校4年までを35人として以後は改善が止まってしまっています。「少人数学級への改善」は、先生、父母はじめ、教育関係者から久しく要望されてきたことです

しかし「コロナ禍」に直面して、感染拡大防止を考えただけでも少人数学級への取り組みが不可欠であることが鮮明になりました（教室で子ども同士の距離を2m以上空けようと思えば、1クラス20人以下にしなければなりません=箕面市作成のイメージによる）。文科大臣も「40人学級の見直しも含む検討を進める」との考えを示しています。

もちろん、子ども同士の「ソーシャルディスタンス」の確保にとどまらず、外出自粛、オンライン授業での学習援助、対面での生徒指導、保護者との連携等々、学校教育のどの角度からも、一人一人の先生がゆとりをもって子どもたちに向き合える条件整備は緊急に必要なことになっています。

目下の感染拡大の「第二波」というべき状況のもと、以下請願します。

【請願事項】

国・県に「少人数学級への速やかな前進を求める」との意見書を採択していただくこと。

以上

芦屋市議会議長 中島健一様

2020年8月27日

【請願者】

芦屋市浜町

あたたかく民主的な市政をめざす芦屋市民の会
代表幹事 濱本鶴男

【紹介議員】

ひらせ 久美子

平野 貞雄

山口 みづ之

中村 亮介

大原 裕貴